

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)	相模原市水とみどりの審議会		
事務局 (担当課)	水みどり環境課 電話042-769-8242 (直通)		
開催日時	令和4年2月25日(金) 15時00分～17時00分		
開催場所	ウェブ会議 傍聴会場：相模原市役所職員会館4階 会議室2		
出席者	委員	9人(別紙のとおり)	
	その他	0人	
	事務局	7人(環境共生部長、水みどり環境課長、他5人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1 開会 2 議題 (1) 第2次相模原市水とみどりの基本計画・生物多様性戦略 実績報告書(令和2年度版)(案)について (2) 令和4年度相模原市水とみどりの審議会の予定について 3 その他 4 閉会		

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、●は事務局の発言)

### 1 開会

### 2 議題

#### (1) 第2次相模原市水とみどりの基本計画・生物多様性戦略 実績報告書(令和2年度版)(案)について

事務局による説明の後、質疑応答を行った。

(田淵会長) 現在の説明は、前回の審議会でP D C Aを行った意見・質問に対する回答ということによいか。

(事務局) そのとおりである。

(田淵会長) 資料1-4の5~6ページ、市民アンケートの調査結果については、円グラフや棒グラフ等、市民の方にも見やすく、パッとわかりやすいものに修正いただきたい。

(事務局) 見やすいものに修正を行う。

(田淵会長) 資料1-4の9ページ、5「(仮称)相模原市市民の森」について、市としては、山道を造るのか、それとも勉強会等の集まるイベントを行うのか。

(事務局) 山道は神奈川県が復旧工事を行っており、市としてはソフト面である森に親しむイベントを行えるよう検討を行っている。

(田淵会長) 資料1-4の9ページ、6「明許繰越」という言葉が記載されているが、一般的ではない。」という質問に対して、ほとんど変わっていないのではないか。

(事務局) この相模原スポーツ・レクリエーションパークに関しては、公に繰越すことが認められているものであり、行政においては、予算を繰越すことを原則として行っていないため、長文となったものである。

(田淵会長) 資料1-4の11ページにおいて、進捗状況の100%を50%に修正したとあったが、この他にも進捗状況を変更したものはあるのか。

(事務局) 他の事業との整合性を図る上で、全体をとおして、約5事業の進捗状況の修正を行った。

(田淵会長) 例えば、資料1-2 40ページ、331-1の相模川ふれあい科学館については、休館した期間も含め、進捗状況を100%としたとあったが、具体的にはどのような修正を行ったのか。

また、新型コロナウイルス感染症の影響によりと記載するのではなく、「新型コロナウイルス感染症の予防のため」等と記載した方がより正しい記載方法である。

(事務局) 新型コロナウイルス感染症の記載方法については、修正を行う。新型コロナウイルスの感染症予防の観点から、事業が全くできなかった事業や半分はできた事業等があり、当初それぞれの課から提出があった進捗状況をそのまま記載していたが、全体の整合性を踏まえた上で、進捗状況の修正を行ったものである。

(田淵会長) 部署によって考え方が違っていたということか。

(事務局) そのとおりである。

(田淵会長) 年度当初に予定をしていた事業計画に対して、全く事業を行わなかったものはあるか。

(事務局) 全く事業を行わなかったものはない。例えば、3つの予定していた実施事業がある中で、2つしかできなかったものについて、2つしかできなかったけれども、目標を達成することができた事業は、進捗状況を100%とした。

(田淵会長) 注釈をつける等、わかりやすい記載とした方が良い。

(事務局) 事業の実施状況等でわかりやすいような記載を行う。

(吉永委員) 資料1-2の市民アンケートについて、設問が「あなたは生物多様性という言葉を知っていますか」であるのに対して、市では「1 言葉を聞いたことがあります、意味も知っている」と「2 言葉を聞いたことがあるが、意味は知らない」をあわせて、65.8%としているが、設問に対して、2は「知らない」という答えであることから、設問と求めている回答が一致しないため、質問を「知っていますか」ではなく「聞いたことがありますか」に次回以降、修正すべきである。

(田淵会長) 以前にも同様の意見があったと記憶しているが、同じような同義語を聞くと意味がわからなくなることもあるため、令和3年度から修正をいただきたい。

(事務局) 令和3年度については、同じ設問で依頼をした後であるため、修正は令和4年度からとさせていただきたい。

(田淵会長) 以前には、言葉を知っていた上で、どういう行動ができるか等、次につながるような言及をしていくと良いという意見もあったと記憶しているので、さらに補足すると良い。

(事務局) 市民アンケートの質問事項については、中間改定に向けて検討を行う。

(田淵会長) 資料1-4の7ページにおいて、生物多様性ポータルサイトに関する話題となっているが、同サイトは更新を行っているのか。

(事務局) 定期的に更新を行っている。

(田淵会長) 生物多様性ポータルサイトにクイズがあったと思うが、増やしてはどうか。

(事務局) クイズについては、初級編、中級編、上級編に分かれており、それぞ

れに10問ずつあり、それを毎年更新している。

(田淵会長) クイズは誰が作っているのか。またその更新頻度はどのくらいか。

(事務局) クイズは、職員で作成しており、初級編、中級編及び上級編、それぞれを年に1回更新している。

(田淵会長) アクセス数だけではなく、ポータルサイトの中身もさらに発展させていくと良い。

(事務局) 令和2年度には、生物多様性動画を作成しており、それに直結するリンクを掲載する等して、新しい内容も加えている。

(香田委員) 資料1-4の8ページにおいて、アライグマに関する記事が記載されているが、どこで捕獲されたかは把握しているのか。

(事務局) アライグマが捕獲された場所は把握している。

(香田委員) 街中は少ないのではないかと考えているが、どこで捕獲される数が多いのかが知りたい。

(事務局) 実績報告書には、そぐわないものと考えているが、アライグマに関しては、例年の懸案事項になっているため、記載方法等については、さらに検討を行う。なお、アライグマ・ハクビシンについては、相模川や境川等の川沿いに多く、緑区よりも南区や中央区で多く捕獲されている。また、ハクビシンについては、街中での捕獲が多くなっている。

(秋永委員) 資料1-2の4ページの市民アンケートについて、「1 言葉を聞いたことがあり、意味も知っている」と「2 言葉を聞いたことがあるが、意味は知らない」を合算して記載しているが、それぞれが何%なのかもあわせて記載すべきである。

また、質問は毎年同じであった方が、わかりやすい。

(事務局) それぞれの割合についても記載する。

(田淵会長) この設問は、「1 言葉を聞いたことがあり、意味も知っている」と「2 言葉を聞いたことがあるが、意味は知らない」という2つをあわせて「聞いたことがある」という括りで、3は「聞いたことがない」という解釈で良いか。

(事務局) そのとおりである。

(田淵会長) この設問については、過去10年分のアンケート結果があったと記憶しているが、いかがか。

(事務局) この設問は生物多様性の目標設定に対して、アンケートを開始したため、それ以前はアンケートをとっていない。また、環境省においても全国民を対象とした同様のアンケートを行っており、その中で、2年程前のデータでは言葉を聞いたことがあるという人数が50%程度の認知度であったと記憶している。

(松井委員) 表現の仕方について、令和2年と令和元年だけが記載されているが、過去から遡ってのデータを記載することで、認知度が段々と上がっているということがわかるので、この設問の重要性を一般に認識してもらえると考えるが、いかがか。

(事務局) 過去のデータがあるかわからないが、工夫して記載する等、生物多様性の市民アンケートの記載方法については、修正を行う。

(秋永委員) 2月15日号の広報さがみはらに生物多様性の記事が1面に掲載されたため、これから影響があると期待している。

(事務局) 水みどり環境課の職員が生物多様性について、紹介するような掲載方法で参画しており、1面及び2面を使用しているため、生物多様性について詳細まで紹介することができたと考えているが、令和3年度の2月であるため、認知度に反映し始めるのは令和4年度になると考えている。

(田淵会長) 目標値が令和9年度で75%であり、それに向かって邁進しているところか。

(事務局) そのとおりである。また今年度は8月に図書館で生物多様性に関する展示を行った他、3月には相模川ふれあい科学館においても生物多様性を取り上げた展示を行う予定であるため、そのような努力が実れば、認知度の向上につながるかと考えている。

(田淵会長) SDGsは、2030年(令和12年)までに達成すべき目標としているが、本計画の最終目標は2027年度(令和9年度)までとしている。SDGsの目標は、「海の豊かさを守ろう」や「陸の豊かさを守ろう」等、生物多様性との関連が深いことから、本計画においてもSDGsを意識し、それに沿った内容になっているか等について、今後確認いただきたい。

また、基本目標1の進捗状況の総括について、「目標達成には至りませんでした」と記載されているが、データを見る限り、卑下することはない。委員から意見のあった数値の表し方を含め、記載方法を検討してほしい。

(事務局) 確認する。

(香川委員) 資料1-4の7ページの生物多様性ポータルサイトのクイズを行い、全問正解すると相模原生きもの博士の認定証が表示されると記載されているが、そのサイトにアクセスすることができなくなっている。修正を行った方がよい。

(事務局) リンク等が変わってしまっている可能性があるため、確認した上で、修正する。

(田淵会長) やった人が褒められるような仕組みはとても良い。審議会委員の先生に問題を作ってもらうなど、クイズのバージョンアップを図るのも良いかと考えている。

(飯塚副会長) 資料1-2の24ページの221-1について、植栽帯の整備の年度計画が0mと記載されているが、これは間違いではないか。

(事務局) 正しい数値であり、年度当初では予算がなく、植栽帯の整備はできないと考えていた。

(田淵会長) ここについては、記載がわかりにくいため、補足する等、わかりやすく記載をした方が良い。

(事務局) 修正する。

(吉永委員) 資料1-2の15ページの121-1について、「市民協働における生物モニタリング調査の調査対象生物種数を67種に増やす。」と記載されているが、現在は何種類なのか。また、その数字については、事業実績に記載してもらいたい。

(事務局) 種数についてはあらためて確認し、事業実績に記載する。

(吉永委員) 資料1-2の47ページの423-4について、読点が重なっており、修正が必要である。

(事務局) 修正する。

(田淵会長) 資料1-2の15ページの121-1について、67種類のところについては、生物名とかの過去のデータがあったと思うが、ここには記載されていないのか。

(事務局) 現在の実績報告書には記載していない。

(田淵会長) 何種を何種まで伸ばすのか、わかるようにした方が良い。また、生物名がたくさん記載されていたかと思うが記載されなくなった理由は。

(事務局) 希少種については、乱獲等のおそれがあることから、場所は明記しないようにしている。

(田淵会長) この記載方法はまだ工夫してわかりやすくできると考えられるため、記載方法を検討いただきたい。生物の種類等も出せる範囲で記載いただくと良いと考える。

(事務局) 記載方法については、再度検討し、修正する。

(秋永委員) 生物種を67種に増やすと記載があるが、種数を増やすよりも参加する団体数を増やす必要があると考える。

(事務局) 現実的には、種数を増やすことが簡便であるが、団体数を増やすことも検討していきたい。

(田淵会長) 団体数を増やししながら、種数も増やすように記載方法を検討していただきたい。

(平野委員) 資料1-2の23ページの214-1の③実績について、森づくりパートナーシップ協定団体について記載されており、日頃から水みどり環境課の職員とは連携を図っており、団体が活動する上での課題を伝えている。この

課題について、委員の皆様にも知ってもらいたい。人、もの、金について、会に参加する人数や作業量の問題がある他、刈払機やチェーンソーや手ノコなどの資材、また、刈払機やチェーンソー等の刃や燃料代等の問題がある。どの団体でもこのような問題があると考えている。それを発生材を加工して販売することで活動資金に充てている。森の老朽化について、台風で倒れた木、幹が中折れした木や刈払いを行った草等、現状では森の中で保管して腐らせるが、腐る木よりも発生する量が多いため、木が山積みになる等、森の景観が悪くなっている。そういったことを市の職員と相談している。炭酸ガスを吸って成長する炭素を固定している木々なので、もっと良い活用を行っていければよいと考えている。

(田淵会長) 平野委員の話は、この実績報告に盛り込めるような話であるため、非常に良い話であった。できることを各団体でやっているが、予算は今後も出るのか。

(事務局) 資材費等が上がっていると伺っているが、現状維持の金額になっている。しかし、SDGsで緑地の保全等に興味を持っている方は増えている。ボランティア団体の担い手の問題があるが、JCやロータリークラブなどが水みどり環境課を訪れ、支援活動を行いたいという問い合わせが増えているため、そういった団体を紹介し、資金や人材の確保につなげていければよいと考えている。

(川島委員) 2月15日号の広報さがみはらについて、生物多様性の記事が大きく出ていたのは、啓蒙に繋がり良かったと思う。今後も頑張ってください。

## (2) 令和4年度相模原市水とみどりの審議会の予定について

事務局による説明の後、質疑応答を行った。

(田淵会長) 私どもの任期はいつまでか。

(事務局) 再来年度、令和5年度の7月までである。

(田淵会長) 中間見直しに向けて、意見を出して、より啓蒙していくことを担う立場ということか。

(事務局) そのとおりである。

(田淵会長) SDGs等、この計画に関わりが深いものと考えている。よりわかりやすく、より早く伝えていく必要がある。

## 3 その他

事務局から次回の会議日程等について説明した。

以上

## 水とみどりの審議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	田淵 俊人	玉川大学農学部 教授	会長	出席
2	松井 久実	麻布大学獣医学部 講師		出席
3	吉永 龍起	北里大学海洋生命科学部 准教授		出席
4	川島 尚	公募委員		出席
5	秋永 眞里子	特定非営利活動法人境川の斜面緑地を守る会 理事		出席
6	飯塚 裕美	特定非営利活動法人みどりのお医者さん	副会長	出席
7	香川 健	相模原商工会議所 3号議員 (東京ガス株式会社神奈川西支店 支店長)		出席
8	香田 隆芳	「小松・城北」里山をまもる会 副会長		出席
9	平野 和夫	特定非営利活動法人相模原こもれば 理事長		出席